

化学物質管理 > リスクアセスメントツールについて！！

化学物質を使っている企業にとって、今後の管理手順などが来年から大きく変わっていきま
化学物質管理責任者を選任したり、リスクアセスメントが義務となったり・・・

特に皆さんは「リスクアセスメント」をどのように実施するのか、お悩みの一つではないで
しょうか。

以前労安法改訂に伴って、リスクアセスメントができるソフトを探した時に、小難しい物し
見当たらずがっかりした記録があります。全文英文とか・・・

そろそろ厚生労働省などから手ごろなアセスメント手法が出ていないか調べたところ、

「職場のあんぜんサイト」に **CREATE-SIMPLE** というものがありました。

SDSなどを見ながらエクセルに入力していただくだけのものです。一度試してみたいかがですか

★入力画面の一部です。

[STEP 1] 対象物質の基本情報を入力しましょう。			
タイトル			
実施場所			
製品名等			
作業内容等			
CAS番号		CAS番号から入力	
物質名		物質一覧から選択	
リスクアセスメント対象	<input checked="" type="checkbox"/> 吸入 <input type="checkbox"/> 経皮吸収 <input type="checkbox"/> 危険性（爆発・火災等）	性状	<input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体 <input type="radio"/> 気体
<small>※気体の場合には危険性（爆発・火災等）のみ対応しています。</small>			
[STEP 2] 取扱い物質に関する情報を入力してください。			
<input type="button" value="非表示にする"/>			
○ばく露限界値			
日本産業衛生学会 許容濃度		ppm	ACGIH TLV TWA
日本産業衛生学会 最大許容濃度		ppm	ACGIH TLV STEL
「皮」または「Skin」の表示			ACGIH TLV C
○GHS分類情報			
爆発物	自然発火性液体	急性毒性（経口）	皮膚感作性
可燃性／引火性ガス	自然発火性固体	急性毒性（経皮）	生殖細胞変異原性
エアゾール	自己発熱性化学品	急性毒性（吸入：ガス）	発がん性

https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_3.htm